2023年度
環境経営活動レポート

（対象期間：2023年2月1日～2024年1月31日）

東栄電化工業株式会社

2024年 3月29日発行

目　　次

１．組織の概要、対象範囲・・・・・・・・・・・・・・２頁

２．実施体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３頁

３．環境経営方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・４頁

４．環境経営目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・５頁

５．環境経営計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・６頁

６．環境経営計画に基づき実施した取組内容・・・・７頁

７．１　環境経営目標の実績・・・・・・・・・・・・８頁

７．２　環境経営計画の取組結果・・・・・・・・・・９頁

７．３　次年度の環境経営目標と環境経営計画・・１０頁

７．４　2024年度の環境経営目標の取組内容・・・１１頁

８．環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果
　　並びに違反、訴訟等の有無・・・・・・・・・・１２頁

９．代表者による全体評価と見直し・指示・・・・１３頁

１．組織の概要及び対象範囲

1.1　組織の概要

【名　称】　　東栄電化工業株式会社

【代表者】　　代表取締役　山本茂樹

【資本金】　　５，０００万円

【設　立】　　１９７２年４月２８日

【決算期】　　１月

【所在地】　　本社・相模原工場
〒252-0217　神奈川県相模原市中央区小町通2-5-9
TEL：042-771-1528　　FAX：042-773-4032
URL. https://toeidenka.co.jp

一関工場　　（ISO14001：2015取得）　対象外
〒021-0822　岩手県一関市東台14-24
TEL：0191-23-3291　　FAX：0191-23-3290

【環境管理の責任者及び担当者連絡先】

環境管理責任者　　榊原祐二
担当者　　唐木智則、杉山直、森木和男
連絡先　　042-771-1528

【事業活動内容】

金属表面処理加工
（アルミニウムへの陽極酸化処理及び化成皮膜処理、フープ金めっき処理）

【事業の規模】

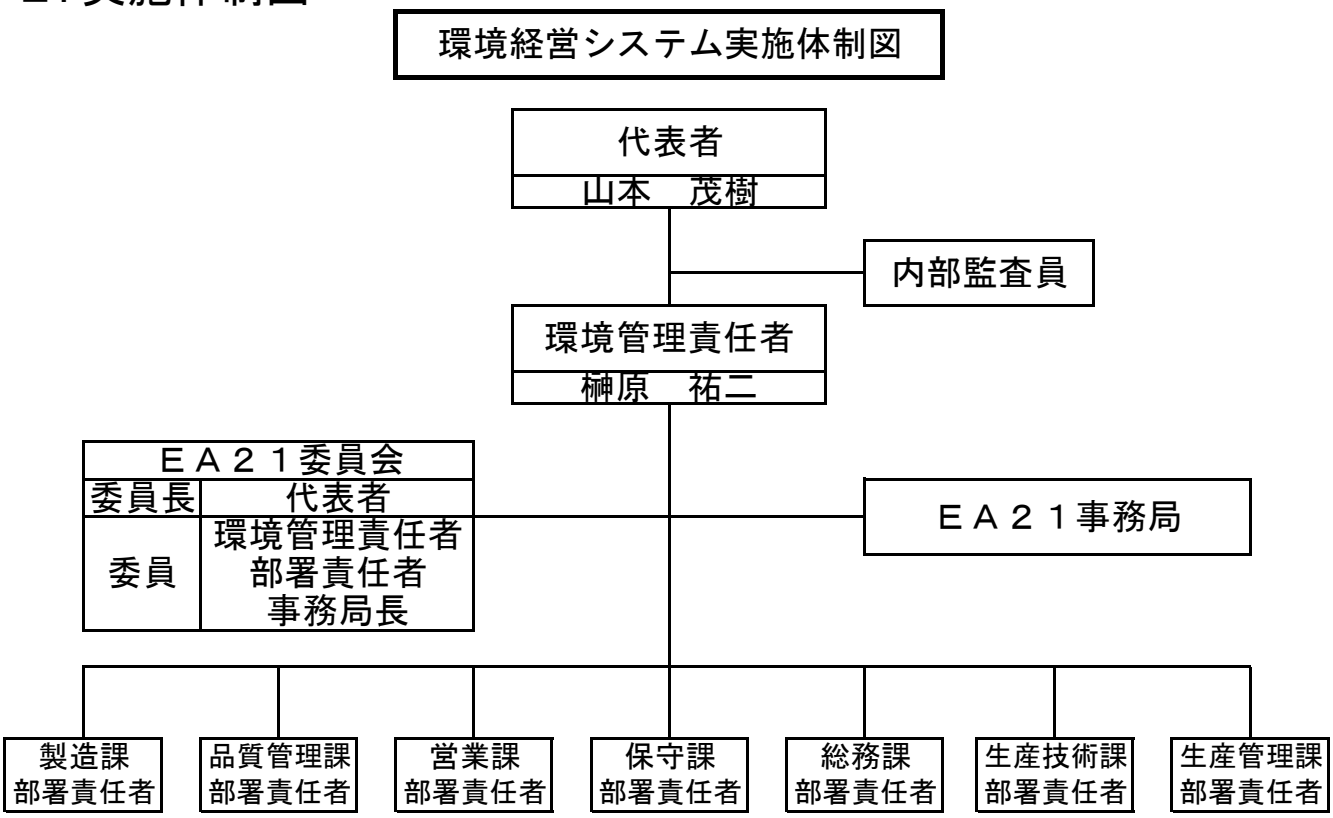
※対象範囲の本社・相模原工場のみ記載

売上高（2023年2月1日～2024年1月31日）	960百万円
従業員数	120名
延べ床面積	4,678m2

1.2　対象範囲

1）対象範囲　　本社・相模原工場
2）活動範囲　　金属表面処理加工
3）レポートの対象期間及び発行日　　表紙に記載

２.実施体制図



役割及び責任･権限表

	役割・責任・権限
代表者	・経営における課題とチャンスを整理し、明確にする
	・環境経営に関する方針（環境経営方針）を定め、誓約する
	・効果的で必要十分な実施体制を構築し、役割、責任及び権限を定める
	・環境経営に必要な資源（人・もの・資金・情報）を用意する
	・環境経営全体の取組状況を評価し、総括的見直し、必要な指示を行う
	・環境方針、実施体制、目標計画を従業員に周知させる
環境管理責任者	・環境経営目標、環境経営計画の作成・承認及び社内周知
	・全社組織へのEA21活動実施の統括
	・EA21活動結果全体のとりまとめ承認及び代表者への報告
	・内外環境コミュニケーションへの対応
	・問題点の是正処置の統括
EA21委員会	・環境経営方針等決定事項の社内伝達
	・EA21活動に関する協議、意見交換
EA21事務局	・環境管理責任者の補佐
	・EA21活動に関する事務
部署責任者	・環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画内容の部門内周知
	・部門内EA21活動の実施指揮及び部門内EA21活動結果のとりまとめ
	・問題点の是正処置、予防処置の実施
従業員	・環境経営目標、環境経営計画等に基づくEA21活動の実施
	・EA21活動に関する提案
内部監査員	・管理責任者が決めた監査基準（客観性･整合性･公平性･効率性）に順守し内部監査を行う
	・内部監査結果を被監査部署長および管理責任者に報告する

３．環境経営方針

［企業理念］

「お客様との信頼関係を通して社会に貢献する」

［行動指針］

1. 金属表面処理における環境負荷の低減を図るため以下の活動に取組みます

（１）省エネ(電気･燃料)を推進し、二酸化炭素(CO_2)の排出量を削減します
（２）廃棄物の排出量を削減します
（３）水の使用量を削減します
（４）化学物質の使用量を削減します

２．事業活動にあたっては環境関連を含む全ての法規を遵守します

３．環境経営活動を継続的に改善し、さらに以下の事業リスクに取り組みます

（１）コスト削減活動の停滞を解消します
（２）異種材料使用市場へのアクセス力不足を解消します
（３）作業の効率化を推進し、PC活用の遅れを解消します
（４）老朽化による設備トラブルリスクを低減いたします

４．環境経営方針をすべての社員に周知します

2022年10月31日
東栄電化工業株式会社
代表取締役　山本　茂樹

４．環境経営目標

2023年度　　環境経営目標設定表

承　認	作　成
神原	森木

作成年月日：2023年1月31日

No	環境方針項目		基準値	CO2 換算係数	年　度　目　標	
			2021年度(実績)		2023　年度	2024　年度
	売上高（万円）		85,219		89,480	93,954
1	二酸化炭素の排出量削減	1）電力の使用量削減	電力使用量	0.52	基準値に対し　2　%削減	基準値に対し　3　%削減
			1,199,804		1,175,808	1,163,810
			kWh／年		kWh／年以下	kWh／年以下
		2）化石燃料の使用量削減（目標は、合計値で評価）	化石燃料使用量	2.32	基準値に対し　2　%削減	基準値に対し　3　%削減
			ガソリン　<L>		2,149	2,127
			2,193		L／年以下	L／年以下
			軽油　<L>	2.58	3,886	3,846
			3,965		L／年以下	L／年以下
			合計<L>		6,035	5,973
			6,158		L／年以下	L／年以下
		3）都市ガスの使用量削減	都市ガス使用量	2.19	基準値に対し　2　%削減	基準値に対し　3　%削減
			125,253		122,748	121,495
			m3/年		m3／年以下	m3／年以下
		CO2合計（kg-CO2）	913,520		895,249	886,114
			kg-CO2		kg-CO2／年以下	kg-CO2／年以下
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物の排出量削減	一般廃棄物排出量		基準値に対し　2　%削減	基準値に対し　3　%削減
			7,020		6,880	6,809
			kg／年		kg／年以下	kg／年以下
		産業廃棄物の排出量削減	産業廃棄物排出量		基準値に対し　2　%削減	基準値に対し　3　%削減
			54,690		53,596	53,049
			kg／年		kg／年以下	kg／年以下
3	水使用量の削減		水道使用量		基準値に対し　2　%削減	基準値に対し　3　%削減
			52,514		51,464	50,939
			m3／年		m3／年以下	m3／年以下
4	化学物質管理の徹底（硝酸使用量の適正化）		化学物質使用量		基準値に対し　2　%削減	基準値に対し　3　%削減
			48,640		47,667	47,181
			kg／年		kg／年以下	kg／年以下
5	クレーム件数の削減		クレーム件数		基準値に対し　10　%削減	基準値に対し　20　%削減
			72		65	58
			件／年		件／年以下	件／年以下

※2021年度の実績を基準として、計画を策定し2024年度まで継続実施する。
※電力の二酸化炭素排出係数は、2020年（令和2年）中国電力実績の調整後排出係数0.52kg-CO2/kWhを適用した。
※年度表記は　2月～ 1月の期間を適用した。
※売上高2023年度は基準値の5%UP、2024年度は前年度目標の5%UPとして目標設定した。
※化石燃料の目標は、配送車(ガソリン車、軽油車)をお客様の品物の量により変えているため、個別の使用量に変動があり、削減目標が難しく合計値で評価した。(ガソリン及び軽油個別の使用量は参考値)
※アルミ排出量の削減については、アルミ治具のライフを伸ばし削減することで進めていたが、品質に影響するため毎年削減することが難しく目標設定を削除した。
※産業廃棄物の排出量削減を2023年度から追加した。

5. 環境経営計画

No	環境経営 方針項目	環境経営 目標項目	目標達成手段	責任部門	スケジュール 2023年2月～2024年1月
1	二酸化炭素の 排出量削減	1）電力の 使用量削減	生産設備の適正管理	製造課 生産管理課	（左記達成手段全て）→
			室温の適正化（温度設定は個々の場所による） 夏：28℃、冬：20℃		
			PC、ｴｱｺﾝ、照明の切り忘れ回数の削減		
		2）化石燃料の 使用量削減	ガソリン・軽油：公共交通機関を使用した出張	営業課	（左記達成手段全て）→
			ガソリン・軽油：急加速・急停車の防止		
			ガソリン・軽油：夏季以外のカーエアコンの抑制		
			ガソリン・軽油：		
			ガソリン・軽油：		
		3）都市ガスの 使用量削減	ボイラー稼働時間の適正化	保守課	（左記達成手段全て）→
			蒸気漏れ時の迅速な対応		
2	廃棄物排出量 の削減	一般廃棄物の 排出量削減	分別管理の周知徹底（計量廃棄）	総務課	（左記達成手段全て）→
			カラーコピーのゼロ化		
			電子メディアによるペーパーレス化		
		産業廃棄物の 排出量削減	分別管理の周知徹底	保守課	（左記達成手段全て）→
			設備の材質変更の検討・実施		
3	水使用量の削減		節水の意識を高め、徹底	保守課	（左記達成手段全て）→
			節水シールの貼付けとポスター掲示		
			積算流量計の取付・監視		
4	化学物質管理の徹底 （硝酸使用量の適正化）		適正な維持管理の徹底（管理幅内）	製造課 生産技術課	（左記達成手段全て）→
			硝酸使用量適正化の推進		
5	クレーム件数の削減		再発防止活動の推進	品質管理課	（左記達成手段全て）→
			発生状況の社内周知 （クレーム件数グラフの掲示）		

６．環境経営活動計画に基づき実施した取組内容

No	環境経営 方針項目	環境経営 目標項目	目標達成手段	責任部門	実施した取組内容 2023年2月～2024年1月
1	二酸化炭素の排出量削減	1）電力の使用量削減	生産設備の適正管理	製造課 生産管理課	生産設備の適正管理を実施
			室温の適正化（温度設定は個々の場所による） 夏：28℃、冬：20℃		残業削減による節電を実施
			PC、ｴｱｺﾝ、照明の切り忘れ回数の削減		
		2）化石燃料の使用量削減	ガソリン・軽油：公共交通機関を使用した出張	営業課	アイドリングストップを実施
			ガソリン・軽油：急加速・急停車の防止		急加速・急停車をしない運転を実施
			ガソリン・軽油：夏季以外のカーエアコンの抑制		
			ガソリン・軽油：		
		3）都市ガスの使用量削減	ボイラー稼働時間の適正化	保守課	ボイラー稼働時間の適正管理を実施
			蒸気漏れ時の迅速な対応		蒸気漏れ防止のため一部配管の材質変更を実施
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物の排出量削減	分別管理の周知徹底（計量廃棄）	総務課	分別管理及び置場の徹底を実施
			カラーコピーのゼロ化		カラーコピーのゼロ化推進
			電子メディアによるペーパーレス化		ペーパーレス化を推進
		産業廃棄物の排出量削減	分別管理の周知徹底	保守課	分別管理を徹底し有価と産廃を分け排出を実施
			設備の材質変更の検討・実施		設備部品を鉄製からSUS製へ変更を実施
3	水使用量の削減		節水の意識を高め、徹底	保守課	節水シール貼付とポスター掲示を実施
			節水シールの貼付けとポスター掲示		
			積算流量計の取付と監視		積算流量計の監視を実施（記録）
4	化学物質管理の徹底（硝酸使用量の適正化）		適正な維持管理の徹底（管理幅内）	製造課	適正な維持管理を実施
			硝酸使用量適正化の推進	生産技術課	使用濃度の確認・検証を実施（ライフを伸ばせないか、適正値を探り、確認した）
5	クレーム件数の削減		再発防止活動の推進	品質管理課	問題発生時の原因、対策会議の実施 再発防止対策の実施
			発生状況の社内周知（クレーム件数グラフの掲示）		集計結果グラフの掲示

７．１　環境経営目標の実績及び活動評価書

2023年度

評価　達成：○　未達：×　計画：□　実施：■　　四捨五入数値は合計で修正

No	環境経営方針項目	環境経営目標項目	基準値 2021年度	CO2換算係数	2023年度 目標		取組実績（2023年2月～2024年1月） 2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	実績	評価	達成の要因・未達成の原因	未達成の場合の是正処置・予防処置
1	二酸化炭素の排出量削減	1）電力の使用量削減	電力使用量		基準値に対し 2 %削減	1ヶ月毎の活動評価	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			生産設備の適正管理及びこまめな節電により削減できた	
			1,199,804	0.52	1,175,808	計画電力使用量	97,984	97,984	97,984	97,984	97,984	97,984	97,984	97,984	97,984	97,984	97,984	97,984	1,014,834	○		
			kWh／年		kWh／年以下	実績電力使用量	93,900	93,886	79,649	72,067	87,485	92,844	90,989	88,450	79,006	78,228	78,840	79,490	kWh／年	達成		
						評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
		2）化石燃料の使用量削減（目標は、合計値で評価）	ガソリン		基準値に対し 2 %削減	1ヶ月毎の活動評価	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		合計使用量で評価		
			2,193	2.32	〔 2,149 〕	計画ｶﾞｿﾘﾝ使用量	179	179	179	179	179	179	179	179	179	179	179	179	2,221			
			L／年		L／年以下	実績ｶﾞｿﾘﾝ使用量	229	215	275	131	294	230	239	144	132	156	114	63	L／年			
					参考値	評価	×	×	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○				
			軽油		基準値に対し 2 %削減	1ヶ月毎の活動評価	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■				
			3,965	2.58	〔 3,886 〕	計画軽油使用量	324	324	324	324	324	324	324	324	324	324	324	324	2,147			
			L／年		L／年以下	実績軽油使用量	153	204	209	155	241	165	160	222	162	162	154	160	L／年			
					参考値	評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
			合計<L>		基準値に対し 2 %削減	1ヶ月毎の活動評価	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			車両交換やｴｺﾄﾞﾗｲﾌﾞにより削減できた	
			6,158		6,035	計画合計使用量	503	503	503	503	503	503	503	503	503	503	503	503	4,367	○		
			L／年		L／年以下	実績合計使用量	383	419	483	287	535	395	399	365	294	317	268	222	L／年	達成		
						評価	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○				
		3）都市ガスの使用量削減	都市ガス		基準値に対し 2 %削減	1ヶ月毎の活動評価	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			ﾎﾞｲﾗｰ稼働時間の適正管理及び蒸気漏れに迅速に対応して削減できた	
			125,253	2.19	122,748	計画ガス使用量	9,680	9,680	9,680	9,680	9,680	9,680	9,680	9,680	9,680	9,680	9,680	9,680	121,525	○		
			m3／年		m3／年以下	実績ガス使用量	10,837	12,143	8,803	8,841	10,351	9,332	9,186	10,071	11,377	10,878	10,117	9,589	m3／年	達成		
						評価	×	×	○	○	×	○	○	×	×	×	×	○				
		CO2総量計（kg-CO2）	913,520		895,249	1ヶ月毎の活動評価	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	804,543	○	上記ｴﾈﾙｷﾞｰ使用量削減によりCO2排出量が削減できた	
						計画CO2排出量	74,604	74,604	74,604	74,604	74,604	74,604	74,604	74,604	74,604	74,604	74,604	74,604	kg-CO2／年	達成		
			kg-CO_2／年		kg-CO2／年以下	実績CO2排出量	73,489	76,440	61,871	57,542	69,465	69,674	68,398	68,955	66,723	65,280	63,814	62,892				
						評価	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物の排出量削減	一般廃棄物排出量		基準値に対し 2 %削減	1ヶ月毎の活動評価	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			廃棄物の分別、置場の徹底により削減ができた	
			7,020		6,880	計画一般廃棄物排出量	573	573	573	573	573	573	573	573	573	573	573	573	6,170	○		
			kg／年		kg／年以下	実績一般廃棄物排出量	390	470	570	480	590	540	690	500	500	460	590	390	kg／年	達成		
						評価	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	×	○				
		産業廃棄物の排出量削減	産業廃棄物排出量		基準値に対し 2 %削減	1ヶ月毎の活動評価	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			廃棄物の分別を徹底し有価と産廃とに分け、排出し削減できた	
			54,690		53,596	計画一般廃棄物排出量	4,466	4,466	4,466	4,466	4,466	4,466	4,466	4,466	4,466	4,466	4,466	4,466	47,054	○		
			kg／年		kg／年以下	実績一般廃棄物排出量	3,930	3,500	6,268	6,860	3,492	3,922	5,000	3,240	3,470	3,547	3,420	405	kg／年	達成		
						評価	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	×	○				
3	水使用量の削減		水道使用量		基準値に対し 2 %削減	2ヶ月毎の活動評価	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			製造課の給水バルブの調整や節水への取組により削減できた	
			52,514		51,464	計画水使用量		8,577		8,577		8,577		8,577		8,577		8,577	39,352	○		
			m3／年		m3／年以下	実績水使用量		6,931		6,982		6,369		6,277		6,896		5,897	m3／年	達成		
						評価		○		○		○		○		○		○				
4	化学物質管理の徹底（硝酸使用量の適正化）		化学物質使用量		基準値に対し 2 %削減	1ヶ月毎の活動評価	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			硝酸の使用濃度の確認・検証を実施し削減できた(ﾗｲﾝを伸ばせないか適正値を探った)	
			48,640		47,667	計画硝酸使用量	3,972	3,972	3,972	3,972	3,972	3,972	3,972	3,972	3,972	3,972	3,972	3,972	39,760	○		
			kg／年		kg／年以下	実績硝酸使用量	3,380	4,160	3,480	3,200	3,800	3,000	2,720	4,080	2,660	2,580	2,700	4,000	kg／年	達成		
						評価	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×				
5	クレーム件数の削減		クレーム発生件数		基準値に対し 10 %削減	1ヶ月毎の活動評価	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			原因及び対策会議を行い、再発防止対策を実施し、削減できた	
			72		65	計画クレーム件数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	63	○		
			件／年		件／年以下	実績クレーム件数	5	4	6	6	8	7	4	4	10	4	2	3	件／年	達成		
						評価	○	○	×	×	×	×	○	○	×	○	○	○				

※電力の二酸化炭素排出係数は2020年（令和2年）中国電力実績の調整後排出係数0.52kg-CO2/kWhを適用した。

※環境経営目標項目の評価は、実績が目標値以下で達成「○」、未達成「×」と評価する。

７．２　環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

2023年2月～
2024年1月

No	環境経営方針項目	環境経営目標項目	目標達成手段	取　組	
				結果・コメント	次年度の内容
1	二酸化炭素の排出量削減	1）電力の使用量の削減	生産設備の適正管理 室温の適正化（温度設定は個々の場所による）　夏：28℃、冬：20℃ PC、ｴｱｺﾝ、照明の切り忘れ回数の削減	生産設備の適正管理や節電意識を高めた結果、使用量を削減できた	目標値を大幅に上回ったため目標を上方修正する 前年度取組みを継続する
		2）化石燃料の使用量削減	ガソリン・軽油：公共交通機関を使用した出張 急加速・急停車の防止 夏季以外のカーエアコンの抑制	アイドリングストップ及び急加速・急停車をしないように運転を実施した 社用車を燃費の良いものへ変更を実施した(1台) 化石燃料合計使用量を大きく削減できた	目標値を大幅に上回ったため目標を上方修正する（合計数値） 出張時は、社用車を使用せず公共交通機関を利用する 前年度取組みを継続する
		3）都市ガスの使用量削減	ボイラー稼働時間の適正化 蒸気漏れの防止、発生時の迅速な対応	ボイラー稼働時間の適正管理及び蒸気漏れに迅速に対応した	前年度取組みを継続する
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	分別管理の周知徹底（計量廃棄） カラーコピーのゼロ化 電子メディアによるペーパーレス化	ペーパーレス化を進め、紙の使用量を削減すると共に分別管理の周知徹底を図り、廃棄物の削減に努めた	目標値を大幅に上回ったため目標を上方修正する カラーコピーのゼロ化(市場開発関係(会社案内、展示開資料)以外とする) 新聞紙・梱包材を再利用を追加し、前年度取組みを継続する ごみの捨て方の表示を見直し前年度取組みを継続する
		産業廃棄物排出量の削減	分別管理の周知徹底 設備の材質変更の検討・実施	分別管理を徹底し有価と産廃を分け排出し削減できた 設備部品を鉄製からSUS製へ変更を実施し廃棄物の削減に努めた	前年度取組みを継続する 設備の材質変更の検討・実施の取組みを継続する
3	水使用量の削減		節水の意識を高め、徹底 節水シールの貼付けとポスター掲示 積算流量計の取付と監視	節水のシールを貼り、意識を高めると共に積算流量計の監視にて削減を実施した	目標値を大幅に上回ったため目標を上方修正する 節水シール表示を見直し前年度取組みを継続する
4	化学物質管理の徹底（硝酸使用量の適正化）		適正な維持管理の徹底（管理幅内） 硝酸使用量適正化の推進	使用濃度の確認・検証を実施（ライフを伸ばせないか、適正値を探った） 化学物質(硝酸)使用量を削減てきた(取組みほぼ完了)	硝酸使用量はほぼ完了したため、研磨液を化学物質管理として変更し、取組みを継続する
5	クレーム件数の削減		再発防止活動の推進 発生状況の社内周知（クレーム件数グラフの掲示）	問題発生時の原因、対策会議及び再発防止対策の実施により削減できた 集計結果グラフの掲示による周知により削減できた	受入検査の開始と出荷検査の強化を追加し、前年度取組みを継続する

７．３　次年度の環境経営目標と環境経営計画

2024年2月～
2025年1月

2023年度売上（万円）	96,300	実績値
2024年度売上（万円）	101,021	目標値

No	環境経営方針項目	環境経営目標項目	環境経営目標	目標達成手段	責任部門	スケジュール 2024年2月～1月
1	二酸化炭素の排出量削減	1)電力の使用量削減	電力使用量（kwh）	生産設備の適正管理	製造課 生産管理課	→ 左記達成手段に加えこまめな節電を実施する 目標値を上方修正する
				室温の適正化（温度設定は個々の場所による）　夏：28℃、冬：20℃		
			994,537	PC、ｴｱｺﾝ、照明の切り忘れ回数の削減		
		2)化石燃料の使用量削減	ガソリン（L）	ガソリン・軽油：公共交通機関を使用した出張	営業課	→ 左記達成手段に加え出張時は社用車を使用せず公共交通機関を利用する 目標値を上方修正する
			参考：2177	急加速・急停車の防止		
			軽油（L）	夏季以外のカーエアコンの抑制		
			参考：2104			
			合計（L）			
			4,281			
		3)都市ガスの使用量削減	都市ガス使用量	ボイラー稼働時間の適正化	保守課	→ 左記達成手段全てを継続する
			121,495	蒸気漏れの防止、発生時の迅速な対応		
			m3			
		CO2合計（kg-CO2）	793,712 kg-CO2			
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物の排出量削減	一般廃棄物排出量	分別管理の周知徹底（計量廃棄）	総務課 生産管理課	→ 左記達成手段に加え①新聞紙・梱包材の再利用を本年度から実施する カラーコピーのゼロ化(市場開発関係(会社案内、展示開資料)以外とする) 目標値を上方修正する ごみの捨て方の表示を見直しする
				カラーコピーのゼロ化(市場開発関係(会社案内、展示開資料)以外とする)		
			6,047	電子メディアによるペーパーレス化		
			kg	①新聞紙・梱包材の再利用		
		産業廃棄物の排出量削減	産業廃棄物排出量	分別管理の周知徹底	保守課	→ 前年度取組みを継続する 設備の材質変更の検討・実施の取組みを継続する
			46,113	設備の材質変更の検討・実施		
			kg			
3	水使用量の削減		水使用量	節水の意識を高め、徹底	保守課	→ 左記達成手段に加え節水シール表示を見直しする 目標値を上方修正する
			38,565	節水シールの貼り付けとポスター掲示		
			m3	積算流量計の取り付けと監視		
4	化学物質管理の徹底（研磨液使用量適正化）		化学物質使用量	適正な維持管理の徹底（管理幅内）	製造課	→ 左記達成手段に加え②研磨液使用量適正化を本年度から実施する
			22,467	②研磨液使用量適正化の推進	生産技術課	
			Kg			
5	クレーム件数の削減		クレーム件数	再発防止活動の推進	品質管理課	→ 左記達成手段に加え③受入検査の開始と出荷検査の強化を本年度から実施する
			57	発生状況の社内周知（クレーム件数グラフの掲示）		
			件	③受入検査の開始と出荷検査の強化		

※2023年度売上は実績値、2024年度売上は目標設定値

※2021年度実績を基準とした中期計画(目標値は原則固定)として開始しているが、電力、化石燃料(合計)、CO2排出量、廃棄物、水使用量の各取組みの2024年度目標設定は、大幅な削減ができたため2023年度実績の2%削減と設定する

７．４　2024年度環境経営目標の取組内容

評価　達成：○　未達：×　計画：□　実施：■　　四捨五入数値は合計で修正

No	環境経営方針項目	環境経営目標項目	基準値	CO2換算係数	2023年度	2024年度		取組実績（2024年2月～2025年1月）													
			2021年度		実績	目　標		2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	実　績	評　価
1	二酸化炭素の排出量削減	1）電力の使用量削減	電力使用量			2023年値に対し　2 %削減	1ヶ月毎の活動評価	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□		
			1,199,804	0.52	1,014,834	994,537	計画電力使用量	86,420	86,420	86,420	86,420	86,420	86,420	86,420	86,420	86,420	86,420	86,420	86,420		
			kWh／年		kWh／年	kWh／年以下	実績電力使用量													kWh／年	
						上方修正	評価														
		2）化石燃料の使用量削減	ガソリン			2023年値に対し　2 %削減	1ヶ月毎の活動評価	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□		合計使用量で評価
			2,193	2.32	2,221	2,177	計画ｶﾞｿﾘﾝ使用量	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169		
			L／年		L／年	L／年以下	実績ｶﾞｿﾘﾝ使用量													L／年	
						参考値	評価														
			軽油			2023年値に対し　2 %削減	1ヶ月毎の活動評価	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□		
			3,965	2.58	2,147	2,104	計画軽油使用量	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250		
			L／年		L／年	L／年以下	実績軽油使用量													L／年	
						参考値	評価														
			合計<L>			2023年値に対し　2 %削減	1ヶ月毎の活動評価	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□		
			6,158		4,367	4,281	計画合計使用量	419	419	419	419	419	419	419	419	419	419	419	419		
			L／年		L／年	L／年以下	実績合計使用量													L／年	
						上方修正	評価														
		3）都市ガスの使用量削減	都市ガス			基準値に対し　3 %削減	1ヶ月毎の活動評価	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□		
			125,253	2.19		121,495	計画ガス使用量	10,125	10,125	10,125	10,125	10,125	10,125	10,125	10,125	10,125	10,125	10,125	10,125		
			m3／年			m3／年以下	実績ガス使用量													m3／年	
							評価														
		CO2総量計（kg-CO2）					1ヶ月毎の活動評価	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□		
			913,520		804,543	793,712	計画CO2排出量	66,143	66,143	66,143	66,143	66,143	66,143	66,143	66,143	66,143	66,143	66,143	66,143		
			kg-CO_2／年		kg-CO2／年	kg-CO2／年以下	実績CO2排出量													kg-CO2／年	
							評価														
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物の排出量削減	一般廃棄物排出量			2023年値に対し　2 %削減	1ヶ月毎の活動評価	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□		
			7,020		6,170	6,047	計画一般廃棄物排出量	504	504	504	504	504	504	504	504	504	504	504	504		
			kg／年		kg／年	kg／年以下	実績一般廃棄物排出量													kg／年	
						上方修正	評価														
		産業廃棄物の排出量削減	産業廃棄物排出量			基準値に対し　2 %削減	1ヶ月毎の活動評価	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□		
			54,690		47,054	46,113	計画一般廃棄物排出量	3,843	3,843	3,843	3,843	3,843	3,843	3,843	3,843	3,843	3,843	3,843	3,843		
			kg／年		kg／年	kg／年以下	実績一般廃棄物排出量													kg／年	
							評価														
3	水使用量の削減		水道使用量			2023年値に対し　2 %削減	2ヶ月毎の活動評価	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□		
			52,514		39,352	38,565	計画水使用量		6,427		6,427		6,427		6,427		6,427		6,427		
			m3／年		m3／年	m3／年以下	実績水使用量													m3／年	
						上方修正	評価														
4	化学物質管理の徹底（研磨液使用量適正化）		化学物質使用量			基準値に対し　2 %削減	1ヶ月毎の活動評価	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□		
			22,925		22,925	22,467	計画硝酸使用量	1,872	1,872	1,872	1,872	1,872	1,872	1,872	1,872	1,872	1,872	1,872	1,872		
			kg／年		kg／年以下	kg／年以下	実績硝酸使用量													kg／年	
			※2023年度基準				評価														
5	クレーム件数の削減		クレーム発生件数			基準値に対し 20 %削減	1ヶ月毎の活動評価	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□		
			72		63	57	計画クレーム件数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		
			件／年		件／年以下	件／年以下	実績クレーム件数													件／年	
							評価														

※電力の二酸化炭素排出係数は2022年**中国電力実績の調整後排出係数0.52kg-CO2/kWh**を適用した。

※研磨液使用量の目標設定は2023年度使用量(実績)を基準とする。

※2021年度実績を基準とした中期計画(目標値は原則固定)として開始しているが、電力、化石燃料(合計)、CO2排出量、廃棄物、水使用量の各取組みの2024年度目標設定は、大幅な削減ができたため2023年度実績の2%削減と設定する

８．環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果
並びに違反、訴訟等の有無

Ⅰ.遵守義務のある法規関係

区分	環境関連法規等名称	遵守状況確認・評価	
		チェック日	結果
公害防止	特定工場における公害防止組織の整備に関する法律（公害防止組織法）	24.03.01 唐木	○
大気汚染	大気汚染防止法	24.03.01 唐木	○
水質汚濁	水質汚濁防止法	24.03.01 唐木	○
	下水道法	24.03.01 唐木	○
	工業用水法	24.03.01 唐木	○
騒音・振動	騒音規制法	24.03.01 唐木	○
	振動規制法	24.03.01 唐木	○
化学物質	特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（化管法）	24.03.01 唐木	○
	毒物及び劇物取締法	24.03.01 唐木	○
消防	消防法（危険物関連）	24.03.01 唐木	○
	神奈川県火災予防条例	24.03.01 唐木	○
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律　（廃棄物処理法）	24.03.01 唐木	○
土壌	土壌汚染対策法	24.03.01 唐木	○
資源循環 （ﾘｻｲｸﾙ）	使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律　（小型家電リサイクル法）	24.03.01 唐木	○
	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律　（フロン排出抑制法）	24.03.01 唐木	○
環境保全	神奈川県生活環境の保全等に関する条例	24.03.01 唐木	○
	相模原市環境保全に関する条例	24.03.01 唐木	○
労働安全	労働安全衛生法（有機溶剤中毒予防規則、特定化学物質障害予防規則含む）	24.03.01 唐木	○

当社に関係する環境関連法規等に対して違反はありませんでした。また、関連機関からの違反等の指摘、環境関連の訴訟も過去３年間ありませんでした。

９．代表者による全体の評価と見直し・指示

代表者による全体の評価と見直し結果報告書

見直し実施日	2024年3月28日　（ ☑定期見直し　☐臨時見直し ）
見直し対象期間	２０２３年２月１日　～　２０２４年１月３１日
出　席　者	代表者、環境管理責任者、部署責任者
前回の見直し記録より指示への取組結果	「排風機の定格での騒音測定方法」について関係省庁と相談し、令和5年12月15日　騒音規制法第8条第1項の規定により「特定施設の種類ごとの数変更届出書」を提出し受理され、問題解消いたしました。
見直しに必要な情報	1 環境関連法規の遵守状況(環境関連法規等取りまとめ表兼遵守確認評価表による) 2 環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況、その評価結果 3 適用範囲、実施体制 4 問題点の是正処置及び予防処置の結果（是正／予防処置報告書による） 5 外部からの環境に関する苦情等の受付結果(外部コミュニケーション記録による) 6 その他（法規制の動向や取引先からの「グリーン調達」の情報等）

代表者による評価

経営的観点

【環境経営システムが有効に機能しているか】（1, 3, 4, 5などを踏まえて評価）

環境経営活動の1年間活動は、EA21認証取得してから初めての活動でしたが、エネルギー使用量も確実に削減されており、環境経営システムは有効に機能していると判断します。
2021年度実績を基準とした3年間の中期計画を確実に進め目標達成へ進めてください。

【環境経営への取組が適切に実施されているか】（2 などを踏まえて評価）

目標項目	目標達成状況	経営計画実施状況	目標・活動計画実施状況の評価 達成の場合：目標設定方法や取組方法の問題点、次年度の方向性 未達の場合：原因の明確化、次年度の目標や対応策
二酸化炭素の排出量削減	○	○	目標達成：個別では、電力使用量について、電気ヒーターを一部蒸気配管(ガスボイラーを使用)に切替えたことで削減できた。次年度は中期設定目標より削減できたため上方修正し活動継続する
廃棄物排出量の削減	○	○	目標達成：次年度は中期設定目標より削減できたため上方修正し、活動継続する
水使用量の削減	○	○	目標達成：次年度は中期設定目標より削減できたため上方修正し、活動継続する
化学物質管理の徹底（硝酸使用量の適正化）	○	○	目標達成：硝酸はほぼ完了したので、次年度目標は化学物質（研磨液）を変えて活動をする
クレーム件数の削減	○	○	目標達成：次年度目標に対し活動を継続する

代表者による見直し

変更の必要性の有無・変更に必要な具体的指示事項

【環境経営方針】　**変更の必要性**　：　☐有　☑無

CO2削減活動や製品の生産方法について生産設備の更なる適正管理を進めることで、さらに省エネ効果が上がることが期待できる。環境経営方針の行動指針を継続し活動すること。

【環境経営目標及び環境経営計画】　**変更の必要性**　：　☑有　☐無

環境経営計画及び実績について、この1年間の活動実績から硝酸使用量の適正化はほぼ完了したので、研磨液に変更し活動する。中期目標2024年まで目標設定は決まっているが、目標項目の一部が2023年度実績として大幅に削減できたため上方修正し活動を継続すること。

【実施体制】　**変更の必要性**　：　☐有　☑無

現在の体制をこのまま維持する。

【環境経営システム等】　**変更の必要性**　：　☐有　☑無

現在のシステムをこのまま維持する

【総　　括】

物価上昇と賃上げが大企業から中小企業まで広がり、原材料やエネルギーコストが今後継続的に増加すると見込まれる。弊社としても対策の一つであるコスト削減が不可欠である。環境経営活動による改善はそのままの比率でコスト削減につながり、2023年度はすべての項目について大きな成果が出た。2024年度は環境経営目標を上方修正し、修正目標を達成することで環境経営のレベルアップとコスト削減を図りたい。